

授業概要

組織心理学とは、組織における人の心理学的メカニズムを研究対象とし、産業社会をより良くするために活用しようとする学問である。「組織行動や組織適応」「グループや組織の特徴」「リーダーシップやチームワーク」「組織内コミュニケーション」を主要テーマとして扱う。組織内で起こる様々な現象や問題、心理や行動、人間関係を理解し、今後の組織行動や社会人生活に活かすことを期待する。

授業は講義に加え、映像視聴や個人ワーク・グループワーク、グループ討議など学生参加型の指導も取り入れるため、積極的な受講態度を期待する。

授業計画

第 1 回	ガイダンス(授業の進め方, 組織とは, 組織心理学とは)
第 2 回	成長する組織
第 3 回	組織への適応と役割の獲得
第 4 回	組織で活躍するための能力と評価
第 5 回	組織文化とその影響
第 6 回	グループ・ダイナミックス
第 7 回	組織での効果的なコミュニケーション
第 8 回	中間総括
第 9 回	チームワーク
第 10 回	リーダーシップ
第 11 回	組織内の人間関係
第 12 回	組織における影響力や対人葛藤
第 13 回	組織での意思決定, コンセンサス
第 14 回	組織におけるストレス, 組織の評価や変革
第 15 回	全体総括
第 16 回	筆記試験

到達目標

- 人と組織との関係を理解し、組織内で起こる様々な現象や心理・行動を理解することができる。
- 今後の大学生活や仕事のなかで、組織心理学が培ってきた知見を活かすことができる。
- 組織内で有効なリーダーシップやチームワーク、コミュニケーションに関する知識を理解し応用できる。
- 職場での対人関係についての理解を深め、今後の職業生活に活かす。

履修上の注意

・講義だけではなく、グループ討議やワーク演習など学生参加型の学修時間があることを理解したうえで履修すること。

・授業中の私語、授業と関係しない作業(携帯等の使用など)を禁止。30分以上の遅刻は欠席扱い(電車遅延など合理的理由がある場合は、証明書の提出を)。受講態度により、座席指定をする場合もある。

・受講学生の希望や状況、進み具合により、授業計画の順番を入れかえることや、内容を一部変更することもある。

予習・復習

- ・毎回、最後にポイントを確認する時間を取るため、復習に役立てること。
- ・ワークシート課題など、予習(宿題)を設定する回もある。

評価方法

授業内レポート 30%、中間レポート 20%、定期試験 50%を総合的に判断する。

テキスト

教科書指定はなし。授業用資料を毎回配布し、参考図書を適宜紹介する。